総合展示部門 解説ガイドボランティア養成2016

大川 剛1)

Training Course of Commentary Volunteer at the Museum Permanent Exhibition in 2016

Tsuyoshi Okawa¹⁾

はじめに

沖縄県立博物館・美術館では、県民の自己啓発や 学習を発表する場の提供、また博物館支援活動を目 的としてボランティアを導入している。この活動は 多様化する来館者のニーズに対し、よりきめ細かな サービスへの寄与と自己学習の場となることを目指 している。現在、ボランティア活動の種類として、 博物館ボランティア、ふれあい体験室専属ボラン ティアがある。

さて、当館では来館者サービスとして、情報センターにおいて総合展示部門解説用の音声ガイドの貸出を行っているが、博物館を訪れる来館者の中には、展示内容についてより詳しい解説を要望する声もあり、現在では一般来館者、県内学校団体、県外修学旅行団体を中心に解説ガイドボランティアの配置をおこない、対応を行っている。

しかし、来館者の増加に伴いより多くの解説ガイドの新規養成及び、現在活躍しているガイドボランティアのスキル向上の必要性など、解決すべき点として挙げられる。

そこで、年々変容する来館者ニーズへの対応、サービス向上およびガイドのスキル向上を目指し、一般来館者、県内学校団体、修学旅行生向けの総合展示部門解説ガイドボランティア養成に、平成26年度実施と同様、取り組むこととした。

ここでは、これまでの取組みを紹介したい。

1 総合展示部門解説ボランティア養成の経緯

当館で、ボランティアが組織として正式に発足したのは、沖縄県立博物館(首里)の1993年(平成5年)7月1日である。当初、ボランティア養成講座の窓口は生涯学習課にあり、運営が博物館というこ

とであった。後、1996年(平成8年)窓口も博物館へ移行した。ボランティアの活動は、主に教育普及活動全般にわたる活動の補助的役割を担っていた。(沖縄県立博物館50年史,1996)ボランティア養成では、博物館におけるインタープリテイション(interpretation)活動の考えを基に、発見に向かわせる解説(前田,1994-1995)の取組が行われた。展示解説は、子どもの来館をイメージし、知識や情報を教えるだけではなく、興味を刺激し、博物館における学習を啓発する内容となるよう進められた。

その後、2007年(平成19年)11月沖縄県立博物館・ 美術館として、首里からおもろまちへの移転を機に、 平成19年度ボランティアを1期生とし、新体制での 活動が始まった。首里の博物館で行われてきた活動 を継承発展させるとともに、より教育的支援の必要 な学校連携事業の取組みを強化し、展示ガイド、誘 導、体験サポート等学校団体に対する支援体制が推 進された。学校団体支援におけるボランティアの役 割は、重要度が高い。

ボランティアはこれまで、学校団体向け展示解説を主に行ってきたが、多様化するニーズとして、学校団体だけでなく、観光で来県した来館者など県内外から一般来館者向けの解説ガイド要望の声が増加傾向にあった。また、ボランティアの中からも、一般来館者に向けた解説ガイド養成講座開催の要望が高まってきた。博物館ボランティア活動の見直し(池原、2012)において、一般来館者向け解説ガイドの必要性があげられている。

2 総合展示部門解説ガイドマニュアルについて

当館はこれまで、ボランティア対象の各種講座や 分野別勉強会(民俗勉強会、歴史勉強会、美術工芸

¹⁾ 沖縄県立博物館・美術館 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 Okinawa Prefectural Museum & Art Museum, 3-1-1 Omoromachi, Naha, Okinawa 900-0006, Japan

勉強会、自然史勉強会)を通して、展示に関する各種情報の提供を行ってきた。その成果として、

- (1) 民俗部門展示室ガイドマニュアル (博物 館ボランティア民俗勉強会, 2010.4)
- (2)総合展示部門(歴史)ガイドマニュアル(博物館ボランティア歴史勉強会,2011.11) ※以下:総合展示部門(歴史)ガイドマニュアル

が、ボランティア・分野担当学芸員の努力で完成することができた。また2016年度には教育普及担当 学芸員による、

(3) 民具体験学習展示解説用マニュアルの作成が行われた。なお、(2) 総合展示部門(歴史)ガイドマニュアルについては、平成28年度現在、写真資料を挿入し、ボランティアがガイド内容を視覚的にも理解しやすくするなどの見直しが進められている。

3 実施までの流れ

(1)教育普及担当者会議(数回)2016年 参加者:県教育普及担当、沖縄美ら島財団教育 普及担当

教育普及担当者会議では、展示解説ボランティア 員としての活動、条件、資格、配置など、実施案作 りへ向けた協議が行われた。また、同会議において 解説内容の検討、配置方法、研修方法、受入方法等 の課題が挙げられた。

(2) 2016年4月~

離島小規模校を対象に展示解説ボランティア開始。 民俗勉強会へ参加し研鑽を積んだボランティアが 離島など少人数の学校を対象に展示解説ガイドを行 う。民俗有志という形態で実施。(登録10名程)(金 城, 2014)

(3) 2016年5月~

第7期博物館ボランティア養成講座開催 10月まで養成講座を行う。

> ① $5/13 \sim 6/24$ 養成講座(計7回) ② $9/16 \sim 10/21$ 専門講座(計7回)

新規として、7期生19名がボランティア登録。

- (4) 2016年6月~
 - ①6月 総合展示部門解説ガイドボランティア 養成講座実施要項(案)作成。

検討会議1

県教育普及、沖縄美ら島財団教育普及

検討会議2

博物館班会議

- ②7月ボランティア連絡会にて概要説明。
 - ・総合展示部門解説ガイドボランティア養成 講座実施要項決定。
 - ・1期から6期までについては、8月31日まで を〆切として、養成講座参加者を募集開始。
 - ・新規博物館ボランティア (7期) については、 10月14日までを〆切として、養成講座参加 者を募集開始。

検討会議の結果、沖縄の通史がわかる総合展示部門から解説ガイド養成を開始する事となった。が介着望の来館者受入の組織体制については、情報センターが受付を行い、沖縄美ら島財団教育普及がコーディネートし友の会と連携をとり、解説ボランティアへ参加の呼びかけを行う。解説内容は、総合展示室のみを30分でまわるコースとした。

- ○総合展示室5カ所ほどの展示項目について、来 館者を解説案内する。
- ○1カ所5分程度の解説とする。
- ○コース及び展示室における待機型ボランティアガイド「ジンブンボックス」を配置する総合展示部門5カ所については、2014年度実施の内容に準じた。琉球王国の成立、旧首里城正殿鐘、進貢船、琉球王国の衰亡、米軍車両とナンバープレートの5カ所が選定された。

また、すでに総合展示ガイドボランティアとして 登録された者にも参加を呼びかけ、受講生と共に自 由に再受講できることとし、更なるスキル向上に努 められるよう工夫を行った。

養成講座は、10月28日の開講式を皮切りに全6回を実施(資料2)。受講生へは事前学習として、博物館学習ノートの活用を呼びかけた。

4 総合展示部門解説ガイドボランティア

(1) 第3回総合展示部門解説ガイドボランティア募集。

1期から6期に加えて、2016年より新たに博物館 ボランティアとして登録した7期までのボランティ アを対象に募集を行った。(資料1)。

平成 28 年度博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座実施要項

1 目 的 来略者へのサービス向上や多様化するニーズに対応するため、一般来館者 (修学旅行生含む) 向けの総 合展示部門解説ガイドボランティア兼成を行う。

- 2 方 針
 (1) 展示解説ガイド実施に向けて
 (0) 博物館ボランティアの分野別勉強会協力のもと、ボランティアによる総合展示部門解説ガイドを
 - 実施する。
 ② 指定管理者(沖縄美ら島財団)教育普及担当がコーディネートの役割を担う。
 ③ 解説場所や内容については、「展示解説マニュアル」を基本とする。

- (2) 展示解説ガイドボランティア養成について ① 博物館教育普及担当は平成28年度総合展示部門解説ガイドボランティア養成の企画・立案を行う。 ② 分野別担当学芸員は、解説ガイドの項目及び内容等について監修をおこなう。

☆総合展示部門 情報センター受付 → *沖縄美ら島財団教育普及コーディネート⇔友の会連携

A 30分コース⇒ 総合展示室のみを30分でまわる

- (1)総合展示室5か所ほどの展示項目について、来館者を解説案内する。(2)「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

B ジンプンボックス⇒ 総合展示室への配置(時間設定を行う)

- (1) 総合展示室の5カ所に配置。一か所5分程度を目安に来館者に解説する (2)「展示解説マニュアル」に基づき解説をおこなう。

- 5 配置方法

 (1) 来館者の希望により、[A]・[B]を遵択できるようにする。
 (2) 展示解設ポランティアは2人1組でガイドを実施する。
 (3) 沖縄美ら鳥財団教育普及がコーディネートする。

- 6 受 入
 (1) 事前子約制 (開催の2週間前までに申し込み)
 (2) 火・水・水・金の9:30~16:00
 (3) 10 名以上の団体から受付
 (4) ガイド1 (2 入1組) =1 グループ (10 名以上)・・・一般未館者、小規模の修学旅行生
 (5) ジンアンボックス特機 (ボランティア7~14 名の配置) ・・・ 100 名以上の団体

資料 1 - 1

7 研修

- (1) 総合展示部門解説ガイド養成講座内容・・・ 別紙参照 ①募集期間 (1 期~6 期ポランティア) 平成 28 年 8 月 5 日 (金) ~ 8 月 31 日 (木) ②申込み方 申込用紙に記入し、ボランティア室設置の箱に投函する ※ボランティア室に箱を設置(申込用紙を1週間おきに回収する)
- (2) 総合展示部門解説ガイド養成講座内容 ・・・ 別紙参照 ①募集期間 (7 期ポランティア) 平成 28 年 9 月 16 日 (金) ~ 10 月 14 日 (金) ど切 ②申込み方 申込用紙に記入し、専門講座受付時に提出する。

平成 28 年度 沖縄県立博物館·美術館

「第3回 博物館 総合展示部門解説ガイドボランティア養成講座」 日程表1

[1]	開催日・場所	時間	内 容	担当者
1	9月16日(金)	14:00~14:35	考古分野の展示解説について	片桐
	(常設展示室)			
2	9月21日(水)	14:00~14:35	歴史分野の展示解説について	崎原・石垣
	(常設展示室)			
3	9月30日(金)	14:00~14:35	美術工芸分野の展示解説について	外間・與那嶺
	(常設展示室)			
4	10月5日(水)	14:00~14:35	生物分野の展示解説について	山崎仁也
	(常設展示室)			
5	10月14日(金)	14:00~14:35	地学分野の展示解説について	宇佐美
	(常設展示室)			
6	10月19日(水)	14:00~14:35	人類分野の展示解説について	藤田・山崎真冶
	(常設展示室)			
7	10月21日(金)	14:00~14:35	民俗分野の展示解説について	大湾
	(常設展示室)			

※学芸員による総合展示室での展示解説 (7分野) 及び担当分野について、重点を置いた解説を実施。 ボランティアが学校団体の支援に入った時、及び一般来館者 (修学旅行生含む) への解説ガイドを 想定し展示室の見どころを紹介。

☆講座修了要件として、第7期ボランティア養成の専門講座第1回〜第7回を受講する

☆原則、講座の補講は設けない。

資料1-2

平成 28 年度 沖縄県立博物館・美術館

「博物館	記 総合展	示部門 解	説ガイドボ	ランティ	ア養成講座	」申i	書	
				1		 ≉は	必须	Ę
※フリガナ			※性別	※生年	-月日			
※氏名			男·女	19()/昭和()年	月	Н
※住所 〒								
※電話(自宅)							
※携帯電話番	号							
※メールアトレス								
かか経験	有・無	有の場合のみが小'実績をご記入下さい。						
が小が可能な 曜日、時間帯を ご記入下さい。		曜日						
		時間帯						

1 募集期間

平成28年8月5日(金) ~ 8月31日(水) 〆切

9 由込み方法

申込用紙に記入し、ボランティア室に設置の箱に提出してください。

資料1-3

日程表2

[2]	開催日・場所	時間	内 容 担当者
1	10月28日(金)	14:00~14:10 14:10~14:30 14:30~15:00 15:10~16:00	開講式 大川、立松 ガイド心書 大川、立松 総合展示室について 関原 実習 I 先輩ボランティアに学ぶ 大川、立松
2	11月2日(水)	14:00~14:50 15:00~16:00 ※グループ1・2 2部構成	実習 II 大川、立松
3	11月9日 (水)	14:00~14:50	分野①→②→③(後半④⑤へ)
4	11月11日(金)	15:00~15:50 (後半)	分野4-5 (後半①2②へ) 回 4 日以 1 日以
5	11月16日(水)	14:00~14:50	・講評と寸論 (10分程度)
6	11月16日(水)	15:00~16:00	閉講式 ガイド証交付式 必ず参加ください 大川、立松

☆講座修了までの流れ



- ☆受講生への連絡事項

 ○『博物館学習ノート』を事前学習すると当日の講座が理解しやすいと思います。

 ○『博物館学習ノート』は、博物館ホームページや情報センターで見ることができます。

資料2

学芸員による総合展示室での展示解説は、歴史、 民俗、美術工芸、考古、生物、地学、人類の7分野 の学芸員が担当分野について、重点を置いた解説が 行われた。



写真 1 学芸員による解説(考古分野) 平成28年9月16日



写真2 学芸員による解説(歴史分野、古琉球) 平成28年9月21日



写真3 学芸員による解説(美術工芸分野) 平成28年9月30日



写真4 学芸員による解説(自然史分野・地学) 平成28年10月5日



写真5 学芸員による解説(自然史分野・生物) 平成28年10月14日



写真6 学芸員による解説(自然史分野・人類) 平成28年10月19日



写真7 学芸員による解説(民俗分野) 平成28年10月21日

実習①②③④では、受講生を4グループに分け実践形式の受講生同士による演習とし、講評と寸論を行った。

また、演習には総合展示部門 (歴史) ガイドマニュアルを活用し、行った。



写真8 グループでの講評と寸評の様子 平成28年10月28日



写真9 グループでの講評と寸評の様子 平成28年11月2日



写真10 閉講式の様子 平成28年11月16日

3ヶ月にわたる養成講座を修了し、11月16日の 閉講式では、18名が総合展示部門解説ガイドボラ ンティアに登録された。

平成28年度は、ジンブンボックス配置型を週3日程度午後の時間帯に実施している。総合展示部門解説ガイドボランティア実施については、県、沖縄美ら島財団、博物館ボランティア、友の会の連携、協力がある。

おわりに

総合展示部門解説ガイドボランティアは、平成28年度18名が加わり49名が登録されている。なかでも、教育普及に関わる催事に関して博物館ボランティアの協力が大きな役割を担っている。博物館ボランティアの活動は、学校団体への対応、一般来館者への対応と多岐にわたる。また、各自がそれぞれの分野に関する知識を深める等研鑽を積極的に積んでいる。博物館教育普及の活動において、ボランティ

アの活動支援は欠くことのできない存在となっている。

今後の取組として、学校対応の教育プログラムの 充実が図れればと考えている。教育普及事業の活性 化に向け、次年度も取組を推進していきたい。

参考文献

沖縄県立博物館50年史。1996。

前田真之. 1994. インタープリテイションとボ ランティアガイド. 沖縄県立博物館紀要20: 49-65

前田真之. 1995. 発見に向かわせる解説:物から学ぶ. 沖縄県立博物館紀要 21:1-17.

池原盛浩. 2012. 博物館ボランティア活動の見直し. 沖縄県立博物館・美術館紀要 5:147-156.

金城久枝. 2014. 総合展示部門解説ガイドボランティア養成:沖縄博物館・美術館紀要8: 105-113